

## TRANSITION TO HEALTH (125)

### “ 新型コロナウイルス感染 ④ ”

～ 最終章 ④ “ 戦争犯罪 に 値する 「mRNA ワクチン技術」 ! ? ” ～

はじめに

前号では、新型コロナウイルスの「mRNA ワクチン」の開発に貢献した（とされる）米国ペンシルベニア大学の研究者、**カタリン・カリコ氏**と**ドリュー・ワイスマン氏**の2人への「ノーベル生理学・医学賞」の授与は時期尚早ではないかと、個人的見解を述べさせていただいた。しかし、**アルフレッド・ノーベル氏**の命日12月10日の夕刻（日本時間11日未明）、ストックホルムで授賞式が開催され、二人は受賞した。カタリン・カリコ氏は、ワクチンメーカーであるドイツのバイオ企業**ピオンテックの上級副社長**を務めている。実は、ドリュー・ワイスマン氏は2018年、自身の論文で「mRNA ワクチンは**血栓**を生じさせ、ヒトの**血管を障害**する恐れがある」と警鐘を鳴らしていたが、今、どんな心境でいらっしゃるであろうか？

### mRNA ワクチン技術で “ 死刑 ” !!・・・FakeかFactか？

カリコ氏とワイスマン氏の2人は「現代における人類の健康に対する最大の脅威の1つだったパンデミックで前例のないスピードのワクチン開発に貢献した」として「ノーベル生理学・医学賞」を受賞されたのであるが、一方、同様のmRNA ワクチンの技術で死刑判決を受け、死刑が執行された科学者がいる（いた？）。

ワクチンメーカー：**モデルナ**の元・最高科学責任者の生化学者 **Melissa J. Moore**（メリッサ・J・ムーア）博士が絞首刑に処せられたというニュースが入ってきた。（『“ mRNA Queen” Hanged at **GITMO**』（September 18, 2023.GITMO））

アメリカ海軍のグァンタナモ湾軍事法廷は9/14（木）、メリッサ・J・ムーア女史に対する **JAG**（Judge Advocate General）の裁判で有罪の判決を下した。ムーア女史は、Covid-19 ワクチン（**mRNA-1273**）という血栓溶解注射で治験参加者を**殺害**し、また、病気にさせた。もし、一般人に投与されれば**高い死亡率**になることを承知しながらFDAに**承認申請**をした罪で、8月に逮捕され、9/14に**死刑判決**を受け、9/18に**処刑**されたという。JAG（Judge Advocate General）と聞くと、ハリウッド映画の世界のように聞こえ、フェイクニュースを否定できないと考える方もいるであろう。私は、しばらくの間、執筆をためらっていたが、「フェイク」ではなく「ファクト」であろうとの個人的見解のもと、今、執筆している。

いわゆる“**mRNAワクチン**”の技術は、致死的な癌や難病・免疫疾患などに用いられるべき**“遺伝子治療”**の技術であって、多くの老若男女・健常人に遍く接種できる**ワクチン技術ではない!**と私は考える。アメリカの軍部は、“注射で一般市民を死に至らしめた”との理由で“戦争犯罪”として扱い、“戦犯（戦争犯罪人）”として、メリッサ・J・ムーア博士を処刑したのであろう・・・これがFACTニュースならば。

**モデルナ**の元・最高科学責任者  
“**mRNA Queen**”と称せられていた  
生化学者 **メリッサ・J・ムーア** 博士

グァンタナモ湾米軍基地軍事法廷（GITMO キューバ）  
2023年9月14日（木）  
JAG（アメリカ海軍法務部）  
の裁判において**死刑判決**を受ける。  
（クランドール副司令官）  
9月18日午前、**絞首刑**が執行され、  
10時45分に**死亡**が確認された。  
（REAL RAW NEWS）



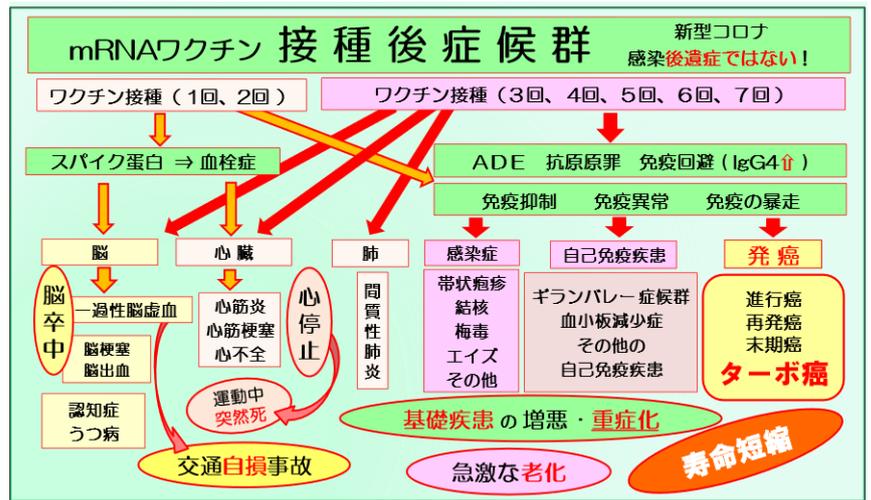
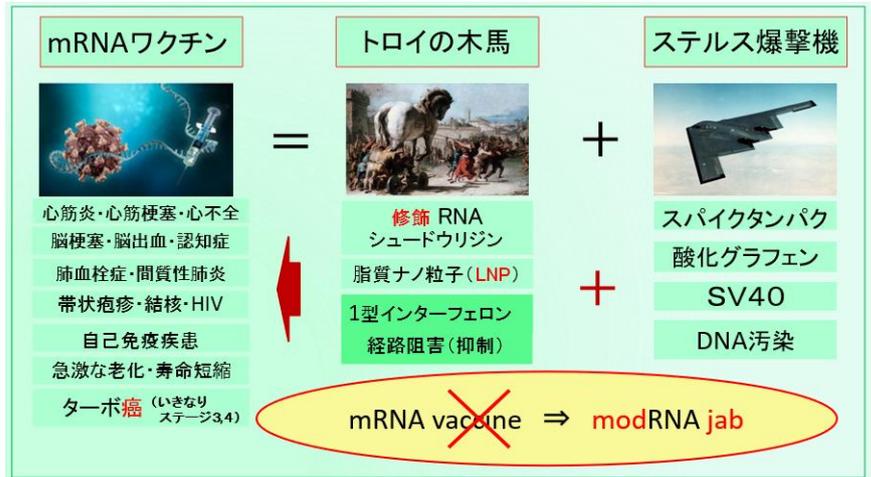
2023ノーベル生理学・医学賞  
この2人はどうなるの・・・？  
時間の問題！？



# いわゆる“mRNA ワクチン”は、ワクチンに非ず、**ジャブ**（jab 害ある注射）である

COVID-19 ワクチンは、接種当初は中和抗体価が上がり、有効であるように見えたかもしれないが、**シュードウリジン**

修飾 mRNA が**自然免疫を抑制**し、分解されにくく、体内に永く残った。そのため、未接種者よりも**接種者の方が感染しやすく、他の感染症にも罹患しやすくなり、ガンの増殖も抑制**することができない。また、**抗原原罪**（最初に誘導してできた抗体が、後に出現する変異株に対する抗体ができるのを阻害する現象）のため、変異株に対して**ワクチン？が効かず、ジャブを打てば打つほど、多重接種者ほど、変異株に対する感染が爆発**してしまっていた。今回の mRNA 技術は、ウイルスそのものを使う必要がなく、**遺伝子情報さえあれば、短期間に有効性の高い？（いや、危険な！）ワクチン（いや、Vaccineとは言いえない、危険なドラッグ、Jabである。）**を生み出せる点に大きなメリット（いや、**デメリット！**）があったと言わざるを得ない。テスラのEV車のように（エンジンは要らない、モーターがあればよい）、赤字のモデルナ社がいきなり黒字経営、大儲けできたのは、この技術のおかげである。今後、**インフルエンザやマラリア、エイズ、結核など**



の感染症にも mRNA ワクチン（いや、**modRNA ジャブ**）の開発が進められてしまったら非常に危険である。来年（2024）9月から予定されているレプリコンワクチン（自己増殖型ワクチン）はもっと危険なのだが・・・（今回は詳述せず）。

## 多重接種由来の交通事故が増える！？

右上の「ワクチン接種回数別・・・」の図は3回目の掲載となるが、ここに記した有害事象は、全て今、現実

に起こっている。右図は、2021年、高齢者接種・職域接種が始まって3カ月ほどが経過した頃、今から3年3カ月ほど前に書いたものである。昨年中（2022）は、大袈裟に書きすぎたかな？と思っていたのだが、今年（2023）に入って、一般人の脳血栓による一過性の脳虚血発作が疑われる交通事故が増えているのではない

## おわりに

か？ と思っている。また、最近発生したタクシーの事故の中にも、ワクチン多重接種が原因ではないか？と疑われるものがあると感じている（個人的見解）。今後、高速バス・観光バス・路線バスや学校・園の送り迎えのバスなどの事故が起こりはしないかと危惧している。飛行機事故に関しては、パイロットは二人体制なのだから、書きすぎたかな？と今は思っている。

医学は自然科学、かつて最良の治療法と考えられていた標準治療法が、今では無効な誤った治療法になってしまうことは少なからずある。コロナ禍3年余が経過し、ワクチンの有効性・安全性が否定されてしまったのだから（個人的見解）、データを改ざんしたり隠蔽したりせず、正直に公表し、「ワクチン接種推奨の中止」を宣言すべきではないのか。コロナが5類に移行して7カ月余りが経過した。人類医学史上初めての**人体実験**（？）であるにもかかわらず、**対リスク利益比**（Risk-benefit ratio）についての慎重かつ十分な**検証**が未だなされていない。“厚生労働省は早急に総括すべきだ”と私は考えている。有耶無耶にしないでいただきたい。次回は、公共放送の「放送倫理違反」「不公平報道（再び）」について。

**再掲** 近未来予測 - 1（仮説・個人的見解）  
(202109)

- \* ワクチン **接種**が徹底した航空会社の飛行機には**乗るな！**  
（操縦中、パイロットが突然、血栓症を発症し、墜落??）
- \* ワクチン **接種**後の運転手の高速バスには**乗るな！**  
（運転手が突然、**血栓症**を発症し、事故に??）
- \* ワクチン **接種**後の運転手のタクシーには**乗るな！**  
（運転手が突然、**血栓症**を発症し、事故に??）
- \* 運転中の**心臓発作**、**脳卒中**による**交通事故**が増える! ?  
（脳・心臓血管疾患が従来より**若くして**発症する??）